

串校下のまいぶんマニュアル

☆☆串校下ってこんなところ！☆☆

地形／串校下は、加賀三湖（今江潟・木場潟・柴山潟）

にかこまれた台地（月津台地）にあります。

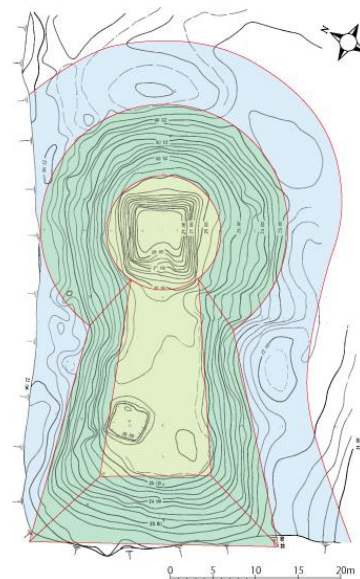
現在は今江潟全体と柴山潟の3分の2は埋め立てられています。

この台地上には、縄文時代のむらや古墳時代の古墳、飛鳥時代～平安時代の渡来人やものづくり集団のむらなど、たくさんの遺跡があります。

ぜひ授業で紹介してほしいポイント！



地形の説明



臼のほぞ古墳測量図

年表に登場する遺跡／臼のほぞ古墳（串町・額見町）

おもな時代は古墳時代。

教科書の小単元は「縄文のむらから古墳のくにへ」。

ポイント①＝全長約52mを測る小松市最大の前方後円墳。ふき石

や埴輪は見つかっていませんが、幅7～8mの堀

（周溝）にかこまれています。

ポイント②＝教科書に登場する仁徳天皇陵古墳（大仙古墳）の全

長と比べると約10分の1しかありません。古墳の大

きさから大和政権の力の強さがうかがえます。

ポイント③＝西暦400～500年代に築かれたと考えられて

います。どんな人が埋葬されていたかはわかって

いません。



串校下
の遺跡



WEB版南加賀古墳
探訪マップ



古墳近景

年表未登場の重要な遺跡／串町遺跡（串町）

おもな時代は縄文時代。

ポイント＝縄文時代の終わり頃に人が住んでいたことが

わかっています。調査で見つかった縄文土器に

は、三内丸山遺跡のある東北地方の縄文土器に

影響を受けた文様がつけられています。



横から見た図



下から見た図

横から見ると、水が流れるよう…
下から見ると、丸を重ねたよう…

串町遺跡出土の縄文土器